

鹿港ロータリークラブ（台湾）

親善訪問特集（4月14日～17日）

鹿港について（台湾省彰化県鹿港）

鹿港はその昔「一府（台南）・二鹿（鹿港）・三艋舺（現在台北の万華）」の一つに数えられ、清朝初期の康熙23年より158年の間（1684～1842）台湾の文化や経済の中心として栄え、全盛期には進士、学人、秀才等の科学合格者や、すぐれた文学者、書家が多く輩出し、史上台湾文化第4期を「鹿港期」と称して居ります。

この由緒ある古い町に祖先伝来の文化財は豊富に保存され、今や民俗文化の宝庫として各方面より重視されております。人口も7万人程、古い歴史のある鹿港ロータリークラブを訪問することになりました。

新東京国際空港での結団式： 熊倉昌平会長

国際奉仕の一環として、台湾の鹿港ロータリークラブを親善訪問するにあたり、会員の皆様の多数の参加をいただきありがとうございました。

また高橋一夫会員にはお骨折りいただきありがとうございました。

和やかに親善を果し、楽しくやっていきたいと思えます。吉田 晃会員職業奉仕をお願いいたします。

台湾（空港到着）鹿港市内見学





鹿港ロータリークラブ第290回例会出席

鹿港ロータリークラブ会長挨拶： 李華洋会長

親愛なる第256地区の日本・三条ロータリークラブのみなさん、今日は遠いところ、わざわざお出でいただき、当クラブの例会に出席下されたことを厚く御礼申し上げます。

先日、高橋一夫様が商用にお出でになられました折に、当クラブの例会に御出席され、三条ロータリークラブとの友好提携について提案されました。

両クラブの気候環境が違っても、人口、産業に於ては似かよっていることに興味を覚え、協議の結果全員一致で友好関係を結ぶ会合を持つことに賛成致しました。

当クラブは、彰化クラブをスポンサーとして、1982年8月



に設立され、本年度で創立6年目を迎える若いクラブであり、会員35名で第346地区に属しております。社会奉仕、国際奉仕を中心として活動し、地域間の友好関係を深めることに努力し、日本の二つのクラブとすでに姉妹関係を結んでおります。

この地は百年以前に大陸との貿易で大変繁栄し、文化的にも重要な地位を占めましたが、その後次第に港は衰えて、古い町並みを残すばかりとなり、現在、観光事業、水産物事業、更に金物、家具、伝統工芸品を中心とした事業に、町の発展を期しております。

以上簡単ではありますが、概要をのべ、歓迎の挨拶にかえさせていただきますと共に、両クラブの友好と三条ロータリークラブのますますの発展をお祈り申し上げます。

三条ロータリークラブ会長挨拶： 熊倉昌平会長

最初に御当地の言葉で挨拶が出来ればよいのですが、私の知っている言葉はマージャンの知識程度ですので、わが国の言葉で話させていただきますことをお許し下さい。

本日は三条ロータリークラブの訪問に際しましては大変暖かい歓迎会を開いていただき感謝の気持ちで一杯であります。

又、お忙しい中を空港迄お迎えいただき、さらには鹿港の貴重な文化、芸術の観賞と国際奉仕委員会の奥様方のお茶の接待など本当にありがとうございました。

三条ロータリークラブは創立31年になり、当初からのチャーターメンバーの2人も元気に本日出席致しております。

昨年は30周年記念式典と256地区のガバナーを当クラブより選出し、更に地区大会も行いました。

三条市は人口8万6千人で非常に産業が盛んで、三条商工会議所の現会頭は本日出席している当クラブの会員である鈴木さんで、三条市の市長は当クラブの名誉会員であり、市長よりみなさんによろしくとのメッセージをもらって来ております。

私共の所では、こちらにないものは「雪」であり、屋根より雪をおろすことが多いようです。今日はこのようなすばらしい会を催していただき、本当に重ね重ね感謝しております。

私は6月で会長を終わりますが、次年度の会長はここに出席しております杉野さんですので、よろしくお願い致します。

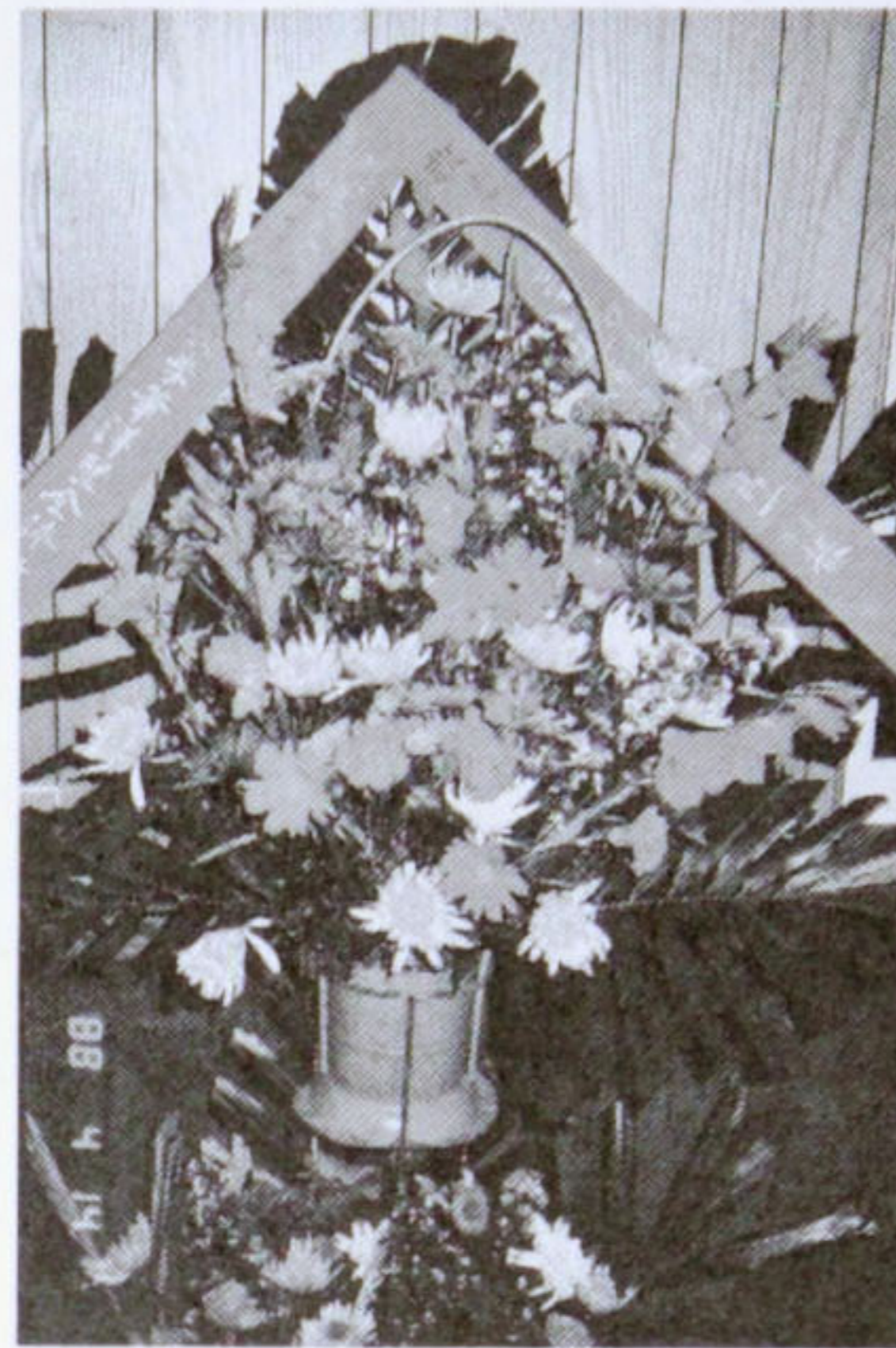
最後に皆様方の日本の三条へのお出でをお待ち致しております。本当にありがとうございました。



例会スナップ



歓迎会スナップ



花盛で歓迎



鹿港クラブ会長みずからテーブルに



渡辺惣吉会員鹿港クラブ会員夫人と交歓



杉野次年度会長と鹿港次年度会長と



鈴木宗資会員ダンスで交歓ご満悦



内山幹事日本演歌「北国の春、熱唱



松川星吾会員台湾の歌で返礼



鹿港クラブ幹事夫婦で日本の演歌を



松川星吾会員こんどは
鹿港クラブ会員夫人とデュエット



全員でハイポーズ

参加者

熊倉昌平君、内山辰策君、渡辺惣吉君、松川星吾君、鈴木宗資君、杉野奎司君、高橋一夫君、高橋汎子さん、堀川政雄君、五十嵐晋三君、小林敬典君、五十嵐昭一君、吉田 晃君、平原信行君、平松利朗君、金川正次郎君、中野芳美君、中条和男君、外山 登君、外山正子さん、高橋 力君

編集後記

幹事から鹿港クラブ親善訪問の特集号を発行したらとの要請を受け、限られた紙面の中で、写真中心の週報をと思いましたが、なにせ素人、思うようになりませんが、同行した小林敬典プログラム委員長に写真提供、掲載のアドバイスをいただき、また鹿港クラブ例会での両会長の挨拶原稿は五十嵐昭一会員より提出いただき感謝いたしております。

どうにか恰好はついたものの、このような特集号になりました。ご笑覧いただければ幸いです。

(会報委員会)